

## 5. 招待講演・シンポジウム

(学術集会・大会・公的な研修会のみ記載, 一般・民間企業主催は除く)

1. 岡田洋平  
(講演) PD 遠隔リハビリのアウトカム  
パーキンソン病に対する遠隔リハビリテーション研究会. 2021年4月 WEB  
パーキンソン病における遠隔リハビリテーションにおけるアウトカムやウェアラブル  
評価などについて解説した.
2. 森岡 周  
(シンポジウム) 痛みに対するニューロリハビリテーションの適応と限界  
第58回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2021年6月@WEB  
痛みの慢性化のメカニズムを解説した後, ニューロリハビリテーションの適応と限界  
について解説した.
3. 森岡 周  
(教育講演) 脳血管障害発症後の運動障害に対するニューロリハビリテー  
ションの基本戦略  
第58回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2021年6月@WEB  
脳卒中後運動麻痺およびその回復に関するメカニズムについて説明した後, メカニズ  
ムベースドな手段を紹介した.
4. 森岡 周  
(シンポジウム) リハビリテーション医療における **Fast dynamics** と **Slow  
dynamics**  
日本予防理学療法学会 第6回サテライト集会. 2021年7月@WEB  
即時的効果を **Fast dynamics**, 学習・適応を **Slow dynamics** と定義し, 身体性の変容  
システムから, リハビリテーション医療の役割について解説した.
5. 森岡 周  
(特別講演) 半側空間無視の病態メカニズムとリハビリテーション  
第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会. 2021年7月@WEB  
注意ネットワークシステムの観点から半側空間無視の病態を捉え, それに基づいたリ  
ハビリテーションアプローチについて解説した.

6. 森岡 周  
(シンポジウム) これからの理学療法士の学術的課題  
日本神経理学療法学会発足記念シンポジウム. 2021年7月@WEB  
(一社)日本神経理学療法学会の副理事長として, 神経理学療法における理学療法士の学術的課題について議論した.
7. 尾川達也  
(講演) 生活期の脳卒中リハビリテーション  
公益社団法人 奈良県理学療法士協会 脳卒中リハビリテーションコース.  
2021年7月@WEB  
病院を退院後の脳卒中者に生じやすい課題について紹介し, 生活期でのセルフマネジメント支援の必要性について紹介した.
8. 岡田洋平  
(講演) パーキンソン病の理学療法のこれから～コロナ禍の先に～  
Small Web Conference-Young PD Experts in Northern Japan. 2021年7月@WEB  
パーキンソン病における COVID-19 の影響, オンラインウェアラブル評価, 遠隔診療による理学療法介入について解説した.
9. 森岡 周  
(シンポジウム) Pain treatment with Neurorehabilitational approach  
4th Asia Oceanian Congress on Neuro Rehabilitation. 2021年8月@WEB  
痛みの慢性化のメカニズムを解説した後, ニューロリハビリテーションの適応と限界について解説した.
10. 森岡 周  
(特別講演) 脳卒中後の運動障害を科学する 身体性システム科学の視点から  
第103回福岡県理学療法士会学術研修大会. 2021年8月@WEB  
脳卒中後運動麻痺およびその回復に関するメカニズムについて説明した後, 身体性の変容も加えてメカニズムベースな手段を紹介した.

11. 水田直道

(講演) 脳卒中患者における歩行のリハビリテーション戦略  
東大阪市理学療法士会. 2021年8月@WEB  
脳卒中患者の歩行障害の特徴や病態を捉えるための評価方法および具体的な介入手続きについて紹介した.

12. 尾川達也

(講演) 理学療法士による Shared Decision Making の実践に向けて  
第2回 三重県理学療法士会研修会. 2021年8月@WEB  
EBMの概要と Shared Decision Making の方法について紹介し, 回復期班と生活期班に分かれたグループワークを行った.

13. 信迫悟志

(講演) 運動の不器用さを抱える児童の理解と支援  
富田林市立新堂小学校. 2021年8月@大阪府富田林市  
DCD児の病態とその支援について講義した.

14. 森岡 周

(教育講演) 学際的研究から脳血管障害の理学療法の未来を展望する  
第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 2021年8月@WEB  
これまでの脳卒中理学療法を振り返り, その歴史的変遷ならびに問題の所在を明言した. また, 脳卒中後運動麻痺およびその回復に関するメカニズムについて説明した後, メカニズムベースドな手段を紹介した.

15. 森岡 周

(特別講演) 脳とココロのサイエンス  
神戸学院大学 FD 研修会公開特別講義. 2021年8月@WEB  
ヒトの脳とココロの接点について解説した.

16. 信迫悟志

(講演) DCD (発達性協調運動障害) の病態理解と介入  
(一社) 山口県作業療法士会小児部会研修会. 2021年9月@WEB  
DCD児の病態に関するエビデンスとそのリハビリテーションについて講義した.

17. 大住倫弘

(シンポジウム) 幻肢痛緩和のための非侵襲的ニューロモデュレーション計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム. 2021年9月@WEB

幻肢痛を非侵襲的に緩和するための実用可能なリハビリテーションツールとその具体的な手続きについて紹介した.

18. 岡田洋平

(講演) パーキンソン病の理学療法  
道東支部令和3年度第2回研修会. 2021年9月@WEB

パーキンソン病の理学療法の基本的な病態, 理学療法の効果に関するエビデンス, 理学療法評価および介入の実際について解説した.

19. 岡田洋平

(講演) パーキンソン病の病期別理学療法  
理学療法士講習会 (基本編理論). 2021年12月@WEB

パーキンソン病の病期に応じた理学療法の評価, 介入に関する基本的な内容について紹介した.

20. 岡田洋平

(教育講演) ヒトの歩行を実現する神経メカニズム  
第19回日本神経理学療法学会学術大会. 2021年12月@WEB

ヒトの二足歩行を実現する神経メカニズムについて解説した.

21. 水田直道

(講演) 脳卒中患者における歩行のリハビリテーション戦略  
公益社団法人日本理学療法士協会 理学療法講習会. 2021年9月@WEB

脳卒中患者の歩行障害の病態メカニズムや具体的な実践例について紹介した.

22. 尾川達也

(講演) リハビリテーション医療における目標設定  
第30回奈良県理学療法士学会. 2021年9月@WEB

リハビリテーション医療における目標設定の効果と方法について概説し, 具体的な実践例を交えて紹介した.

23. 森岡 周

(基調講演) 感覚情報処理と運動制御の神経基盤

日本神経理学療法学会第 22 回サテライトカンファレンス. 2021 年 9 月@WEB

感覚情報処理と運動制御の神経基盤について概説した.

24. 尾川達也

(講演) 自律性と医療コミュニケーションー Shared Decision Making の可能性ー

第 21 回認知神経リハビリテーション学会学術集会. 2021 年 10 月@WEB

患者とセラピスト間の医療コミュニケーションに焦点を当て、自律性の回復に向けた Shared Decision Making の可能性について紹介した.

25. 尾川達也

(講演) 効果的な生活期リハビリテーションの提案について

田原本町自立支援推進研修会. 2021 年 10 月@WEB

在宅高齢者の自立支援に向けた関わりとしてプランニングとアウトカム評価の必要性について、療法士、ケアマネジャー向けに紹介した.

26. 宮脇 裕

(シンポジウム) 運動主体感を決める手がかり統合戦略と脳卒中後運動障害によるその変容

第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会. 2021 年 10 月@WEB

脳卒中後運動障害と運動主体感の宮脇関係性について、これまでの研究成果を紹介した.

27. 森岡 周

(シンポジウム) 基礎・神経理学療法のプラットフォーム創出に向けて

第 26 回日本基礎理学療法学会学術大会. 2021 年 10 月@WEB

基礎的知見をどのように神経理学療法へ活かすかについて議論した.

28. 植田耕造

(シンポジウム) 脳卒中後の姿勢定位障害と前庭機能

日本前庭理学療法研究会 Open Conference 2021. 2021 年 11 月@WEB

脳幹の脳卒中後の姿勢定位障害に対する前庭機能に着目した評価と介入に関して紹介した.

29. 森岡 周  
（講演）社会性の発達  
NPO 法人子育ての文化研究所研修会. 2021 年 11 月@京都府宇治市  
社会性の発達について概説した.
30. 森岡 周  
（講演）リハビリテーション対象者における身体性の変容  
東京理科大学パラレル脳センシング技術研究部門主催 第 1 回公開シンポジウム. 2021 年 11 月@千葉県野田市  
リハビリテーション対象者の身体性について概説した.
31. 大住倫弘  
（シンポジウム）ニューロリハビリテーションの挑戦  
第 43 回日本疼痛学会. 2021 年 12 月@WEB  
痛みのニューロリハビリテーションにおける概念を説明し, 幻肢痛を題材にしてニューロリハビリテーションの理論と実践について紹介した.
32. 森岡 周  
（シンポジウム）身体性システムとリハビリテーションの接点  
第 19 回日本神経理学療法学会学術集会. 2021 年 12 月@WEB  
身体性システムとリハビリテーションの接点について概説した.
33. 信迫悟志  
（教育講演）高次機能を可能にする神経メカニズム  
第 19 回日本神経理学療法学会学術集会. 2021 年 12 月@WEB  
高次脳機能に関わる神経ネットワークの機能解剖について解説した.
34. 尾川達也  
（シンポジウム）神経難病患者の理学療法における目標設定  
第 19 回日本神経理学療法学会学術集会. 2021 年 12 月@WEB  
神経難病患者の目標設定について複数の研究を紹介し, 理学療法士としてどのように関わるべきかについて提案を行った.

35. 宮脇 裕

(シンポジウム) 脳卒中リハの可能性を拓く運動主体感のトランスレーショナルリサーチ

第 19 回日本神経理学療法学会学術大会. 2021 年 12 月@WEB

脳卒中後運動障害と運動主体感の関係性について、これまでの研究成果を中心に、仮説も交えた上で今後のトランスレーショナルリサーチの展開を議論した。

36. 信迫悟志

(シンポジウム) DCD の脳内メカニズムとニューロリハビリテーションの可能性

第 11 回武庫川女子大学健康運動科学研究所シンポジウム. 2022 年 1 月@WEB

DCD の原因となる脳内メカニズムとそれに対するメカニズムベースド・ニューロリハビリテーションの最近の動向について紹介した。

37. 森岡 周

(特別講演) 臨床と研究の有機的融合に向けて

第 22 回沖縄県理学療法学会学術大会. 2022 年 2 月@WEB

臨床と研究の有機的融合に向けて議論した。

38. 森岡 周

(講演) 行為主体性とリハビリテーション

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団研修会. 2022 年 2 月@WEB

行為主体性とリハビリテーションについて議論した。

39. 森岡 周

(講演) 臨床家が学術大会に参加・発表する意義

JCHO 近畿四国地区主任会議主催 JCHO リハ職 特別講習会.

2022 年 2 月@WEB

臨床家が学術大会に参加・発表する意義について議論した。

40. 信迫悟志

(講演) 発達性協調運動障がい (DCD) とは? ～運動が苦手な子、不器用な子への声かけの仕方～

富田林市民講座. 2022 年 2 月@WEB

DCD を有する児にどのように接し、支援していくべきか解説した。

41. 尾川達也

(講演) 在宅における目標設定・介入方法の決定について  
山形県理学療法士会 訪問リハビリテーション理学療法研修会. 2022年2月  
@WEB  
在宅領域における目標設定やアプローチ方法の決め方について, Shared Decision Making を中心に紹介した.

42. 森岡 周

(講演) 大学院博士課程設置における研究指導の在り方  
兵庫医療大学 FD 研修会. 2022年3月@WEB  
大学院博士課程設置における研究指導の在り方について議論した.

43. 森岡 周

(特別講演) 身体性と脊髄損傷者のリハビリテーション  
第28回脊髄損傷理学療法研究会. 2022年3月@WEB  
身体性と脊髄損傷者のリハビリテーションについて解説した.

44. 信迫悟志

(講演) 発達性協調運動障害の病態理解とリハビリテーション介入  
生理学研究所「幼・小児の成長期における脳機能と運動の発達に関する多領域共同研究」研究会. 2022年3月@WEB  
自身が実施した DCD の病態理解とリハビリテーション介入に関する研究を紹介し, 話題提供とした.

45. 信迫悟志

(講演) 教育委員会理学療法巡回事業について  
大阪府門真市教育委員会特別支援教育研修会. 2022年3月@門真市  
理学療法巡回事業の位置づけ, 意義・目的とその実践例を紹介した.